



登米地域の魅力体験会～クラフトツーリズム編～ を開催しました！

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

令和6年11月16日（土）、登米の魅力に触れることができるクラフトツーリズムをテーマに、登米市津山町のクラフトショップもくもくハウスで、登米市内外の小学生を対象とした親子体験会を開催しました。体験会では、津山木工芸品事業協同組合に所属する木工職人の方から、杉矢羽木工品の特徴について講話をいただいた後、木工体験としてフォトフレーム付きペン立ての制作を行いました。参加した児童は様々な形の木材を使用し、オリジナルデザインのペン立て制作に熱心に取り組んでいました。また、保護者からは、「子供たちと楽しく参加することができた」、「木工体験があったらまた参加したい」といった感想をいただきました。

今後も引き続き登米の魅力PRに向けた取り組みを行ってまいります。



体験会の様子

「2024登米の秋 おなかまこころもほっこりフェア」 を開催しました！

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

令和6年10月3日（木）から12月8日（日）まで、登米市内の6飲食店（精進スイーツ結び、HAJJI、Bistro Vendange、soeru、みんなのカフェtetote、五葉-ITSUKA-）において、「2024登米の秋 おなかまこころもほっこりフェア」を開催しました。期間中、対象の飲食店では、登米市産の秋の食材を使用した、フェア特別メニューが提供され、LINEを活用したデジタルスタンプラリーも同時に実施しました。

参加者アンケートの結果では、フェア特別メニューについて、好きなメニューだった、季節感があったなど、好評でした。

引き続き、令和7年1月16日（木）からは、対象店舗で登米の冬の食材を使用したメニューを提供する、「2025登米の冬 おなかまこころもほっこりフェア」を開催しますので、この機会にぜひご賞味ください。



秋フェアメニューの一部（※現在は終了しました）

りんご産地の魅力をお届けします！

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部

登米市は県内でも特にりんごの生産が盛んな地域で、9月上旬から早生品種「つがる」の収穫が始まり、続いて中生品種の「ジョナゴールド」、晩生品種の「ふじ」や「王林」等の多様なりんごが秋の終わりまで順次収穫されます。令和6年は果実の肥大も順調で、生産者の努力の成果により甘くて美味しい完熟りんごが出荷されました。

さらに、若手生産者を中心に、先進的な技術である「りんご樹体ジョイント栽培」の導入が進んでいます。ジョイント栽培は、接ぎ木の技術を活用して複数の樹を直線的に連結して仕立てる方法で、従来の仕立て方法に比べて2～3年早く成園化して収入が得られるようになるメリットがあり、作業の省力化も期待できる技術です。登米市では平成29年に初めて導入され、その後も年々導入面積が拡大しています。掲載した写真は、平成29年に造成された園地を令和6年産の収穫時期に撮影したものです。

現在、登米市のりんごは販売シーズンを終え、果樹園では次のシーズンに向けた準備が始まっています。冬場には剪定や施肥などの管理作業が行われ、生産者は来季も美味しいりんごをお届けできるよう日々努力を重ねています。ぜひ次のシーズンには、登米市産りんごの美味しさをお楽しみください。



収穫時期を迎えたジョイント栽培のりんご園

獣医師の仕事を紹介しました～豊里小・中学校～

宮城県東部家畜保健衛生所

令和6年12月4日（水）、登米市立豊里小・中学校の授業の一環である「キャリアセミナー」に講師として当所職員が出席しました。

当日は、6～8学年（小6～中2）の児童・生徒さん22名を対象に、多岐にわたる獣医師の広範な業務や、どうしたら獣医師になれるか、等について話しました。

家畜の健康状態などを調べるため、血液採取を行う際に使う道具の使い分けや、検査方法などを説明し、生徒さんたちは興味津々に話を聴いてくれました。

また、当所の獣医師が担う家畜の伝染病予防や畜産振興についても説明させていただき、家畜保健衛生所を紹介する良い機会となりました。

今回のセミナーにより、畜産や獣医師の仕事に興味を持っていただき、将来の職業選択の一助となることを願っています。



講話の様子

「農業と農村のいろいろなはたらき」学習会を開催しました！

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部

令和6年11月15日（金）、登米市立西郷小学校の4・5年生16名を対象に、農地整備工事実施中の「沼崎・太平地区」において、現場学習会を実施しました。

この学習会は、農業と農村の多様な働きについて学び、農村地域資源の大切さと、その資源を保全し発展させる農業農村整備事業の役割について理解を深めてもらうことを目的に、工事受注者（株）浅野工務店、宮田建設（株）と共に開催しました。

学習会では、県及び工事受注者が説明案内役となり、自動制御された建設機械の実演や、ドローン飛行の操作体験等を行いました。

引率の先生からは、子供たちが実際に体験することで、より一層地元地域の農業・農村の働きについて学びを深めることが出来たとの感想をいただきました。



説明の様子



自動制御されたブルドーザーの実演

※公式InstagramとX「ほっとめーしょん」で

登米地域の“ほっと”な情報を発信中です※

おすすめの食べ物や景色、施設のほか、季節のおすすめスポットなど、登米地域の様々な魅力情報を職員目線で発信しています。

投稿内容は、「ほっとめーしょん」で検索していただくか、右記QRコードよりご覧ください！



Instagram



X（旧Twitter）

「市民参加の新たな森林づくり・秋」が行われました

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所林業振興部

令和6年11月7日（木）に登米市東和町の森林で、毎年恒例の植樹祭が行われました。米谷小学校と米川小学校の児童を中心に、市民の方々等にも参加いただき、米川生産森林組合所有林にスギ1,000本を植栽、どんぐり1,000個を蒔きました。

今年度末で統合となる米川小学校で長年に渡って活動してきた「緑の少年団」の団員はユニフォームを身につけ、節目となる植樹作業に

取り組みました。スギコンテナ苗の植栽方法について説明を受けた後、練習を経て、植栽しました。

この植樹祭は第48回全国育樹祭記念行事でもあり、育てることの大切さについても説明を受け、学ぶことができました。

生徒達とともにスギも大きく生長することを願っています。



米川小・緑の少年団のサポートによる記念植樹



植樹の様子

「第48回全国育樹祭」の開催日が決定しました！！

令和7年10月4日（土）：白石市・国立花山青少年自然の家

（内容）平成9年開催に現在の上皇上皇后両陛下がお手植えされた樹木に対する皇族殿下によるお手入れ行事。

令和7年10月5日（日）：利府町・グランディ21 せりふ・スパー・アリーナ

（内容）皇族殿下によるおことば、緑化功労者の表彰など。

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを全国に発信し、宮城県らしさ溢れる大会を目指します。今回開催される第48回全国育樹祭が、宮城県では初めての全国育樹祭開催となります。



詳しくはこちらの

QRコードから

ご覧ください！



「愛犬と飼い主のマナーアップ講座」を開催しました

宮城県東部保健福祉事務所登米地域事務所(石巻保健所登米支所)

登米市及び(公社)宮城県獣医師会仙北支部と共催し、登米市民を対象とした「愛犬と飼い主のマナーアップ講座」を開催しました。この講座は、飼い主のモラル向上と飼い犬による危害を未然に防ぐことにより、人と犬が互いに幸せに暮らせる地域づくりを目的としており、飼い犬と一緒に参加することができます。

今年度は、(公社)日本警察犬協会公認訓練士の松本章氏(ドッグスクールマツモト)を講師として招き、令和6年11月16日(土)に米山公民館(参加者18名、うち犬同伴7組)、17日(日)に北方公民館(参加者16名、うち犬同伴7組)で開催しました。犬に飼い主を意識させる練習や散歩の練習など実演を交えながら、しつけの基本をわかりやすい言葉で講義していただきました。

講義の最後には、愛犬同伴参加者から吠え癖などの問題についての個別相談を受け付けました。参加者にとって大切な家族である愛犬との暮らし方を見つめ直す貴重な機会となりました。

登米市は放浪犬通報の多い地域ですが、鳴き声や糞尿等の苦情相談件数は少なく、適正飼養への意識が高いと思われる地域です。本講座は毎年11月頃に開催しておりますので、犬を飼い始めた方や関心のある方はぜひ御参加ください。



講師：松本 章氏



会場の様子(米山)

宮城県市町村合同インターネット公売の実施について

宮城県東部県税事務所登米地域事務所

宮城県と市町村では、令和6年11月から12月までの宮城一斉滞納整理強化月間中に、税金の滞納者から差し押さえた動産等をインターネット(KSⅠ官公庁オークション)で公売します。

○公売参加申込期間

令和7年1月9日(木)13時から1月27日(月)23時まで

○入札期間(せり売り形式)

令和7年2月3日(月)13時から2月5日(水)23時まで

○入札期間(入札形式)

令和7年2月3日(月)13時から2月10日(月)13時まで

OKSⅠ官公庁オークション

URL：<http://kankocho.jp>

(お問い合わせ先)

県税務課 電話：022-211-2326



出品例

「河川クリーンキャンペーン」を開催しました！

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

河川への不法投棄の防止と河川愛護を推進するため、一般社団法人宮城県建設業協会登米支部と協働で、迫川流域の一斉清掃活動「河川クリーンキャンペーン」を毎年実施しており、今年で46回目の開催となります。

令和6年11月12日（火）、登米市内の建設業18社・1団体の111人と当事務所職員8人が参加し、市内の迫川と旧迫川の清掃作業を行いました。全体で690kgの一般ゴミや廃タイヤ・廃家電などを回収し処分しました。そのうち、当事務所では10kgのゴミを回収しました。

昨年に比べ、回収したゴミの総量が約130kg減っておりますが、依然として相当量の不法投棄がありました。引き続き、本活動等を通じた良好な河川の親水空間の確保、景観や環境美化に取り組んでまいります。



参加者119名



堤防のごみ回収



当事務所職員が回収したゴミの状況

第4回迫川流域治水研修会を開催しました！

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

迫川流域治水研修会は、迫川流域を管理する県の事務所の職員や同管内の市職員の人材育成等を目的に、迫川河川改修の歴史や河川管理施設の役割等に係る研修を継続して開催しています。

第4回は令和6年12月9日（月）に、東北地方整備局北上川下流河川事務所の職員を講師に招き、分水堰技術の黎明期に設置された旧北上川の分流施設群についての座学と、現地保存されている土木遺産（脇谷洗堰・鴛波洗堰等）の現地見学を行いました。

今後も引き続き、関係機関の相互連携の充実強化や職員の防災・減災等に向けた知識・資質の向上を図ってまいります。



移設保存された旧月浜第一水門



脇谷洗堰と脇谷閘門



脇谷水門